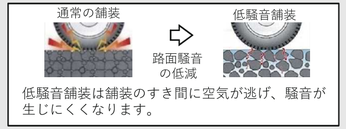
●道路の構造

■低騒音舗装

環境に配慮した低騒音舗装を整備しています。



低騒音舗装は舗装のすき間に空気が逃げ、騒音が生じにくくなります。

■カラー舗装

安全対策として、バスルートである区道との交差部の一部にカラー舗装（すべり止め）を整備しています。

●歩道の構造

■構造的分離

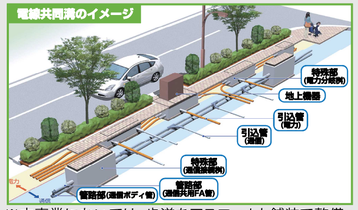
歩行者通行帯と自転車通行帯の間に植栽帯を設け、視覚的、構造的に分離をし、安全性に配慮した構造としています。

通行案内標識のとおり、道路側を自転車、民地側を歩行者の通行区分としています。

■無電柱化

電線共同溝の整備により、「都市防災機能の強化」「安全で快適な歩行空間の確保」「良好な都市景観の創出」を図りました。

●管 路 部:電力や通信用のケーブルを収容する管路
●特 殊 部:宅地への供給ケーブルを継続したり分岐させる箇所
●引 込 管:宅地への供給ケーブルを収容する管路
●地上機器:電力の変圧器などを収容するボックス



※本事業においては、歩道をアスファルト舗装で整備しました。

■街路樹

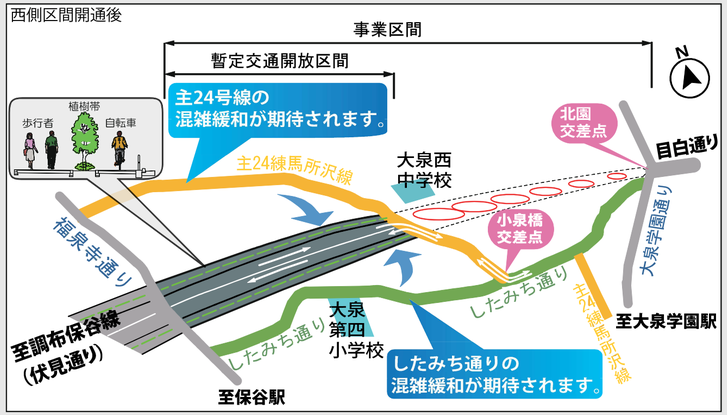
沿道環境の保全や緑豊かな景観を創出するため、ヤマボウシ（月光）やオオムラサキツツジを基本とした組み合わせにより緑化を図りました。

■LED照明

環境に配慮し、長寿命かつ電力消費の少ないLED照明を採用しました。

●整備効果

・したみち通りなど生活道路の混雑が緩和され、歩行者や自転車の安全性や利便性が向上します。



●事業経緯

昭和２１年 ３月	都市計画決定（放射第７号線全線）
昭和３７年 ７月	都市計画変更（本事業区間を現在の位置へ変更）
平成１８年 ７月	事業認可取得
平成２３年 ２月	工事着手
平成２３年 ６月	西側区間の一部で歩道を開放
令和 ５年１１月	一部区間を除き、事業区間の歩道開放
令和 ７年 ２月	西側区間の交通開放

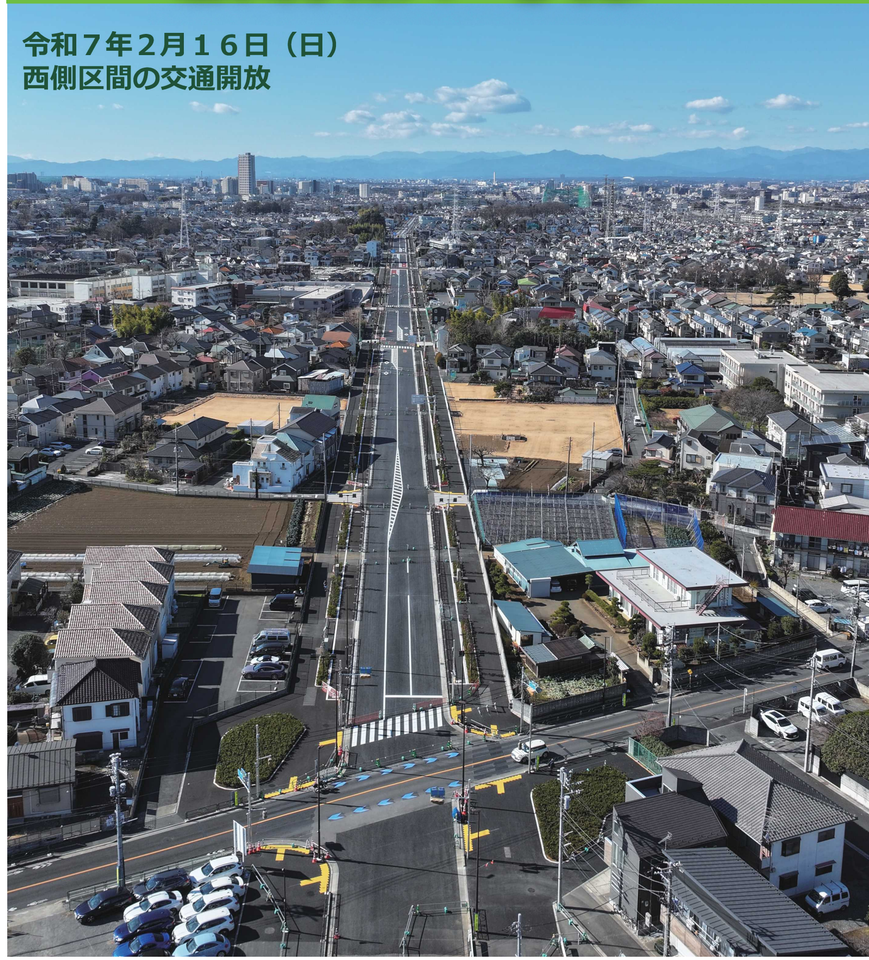
＜お問い合わせ先＞
東京都第四建設事務所　工事第一課
〒170-0005 豊島区南大塚２丁目36－２
☎：03-5978-1727
ホームページ：https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jimusho/yonken/index.html

登録番号(6)13　令和7年2月発行

東京都市計画道路

放射第7号線（大泉）

令和７年２月１６日（日）西側区間の交通開放



東京都第四建設事務所

●放射第７号線とは

■本路線は、千代田区九段北一丁目を起点とし、練馬区西大泉五丁目を終点とする延長約19. 3kmの都市計画道路であり、都市部と多摩地域を結ぶ重要な幹線道路です。

■本路線の整備により、周辺道路の慢性的な交通渋滞が緩和されるとともに、調布保谷線や環状第８号線等の骨格幹線道路とネットワークを形成し、外郭環状道路の大泉ICなど高速道路へのアクセスが向上します。

●事業区間（大泉）について

■練馬区大泉学園町二丁目から同区西大泉五丁目までの約２ｋｍについて、平成18年７月に事業着手しました。

■平成23年２月より、まとまって用地を取得した箇所から工事用搬入路の工事に着手しました。

■平成23年６月には、西側区間のうち約400mの歩道を暫定開放し、その後順次歩道の暫定開放を進めてきました。

■令和５年11月には、一部区間を除いて事業区間の歩道開放を行いました。

●西側区間の暫定交通開放について

■令和７年２月に主24練馬所沢線から福泉寺通りまでの約１kmの区間において、車道を交通開放します。

■また、歩道についても、歩行者と自転車を分離するとともに、植栽の整備を行いました。

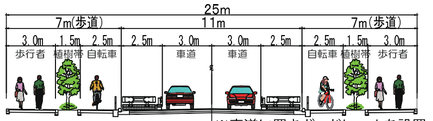
●今後について

■北園交差点までの全線交通開放に向けて、引き続き取り組んでまいります。

●平面図

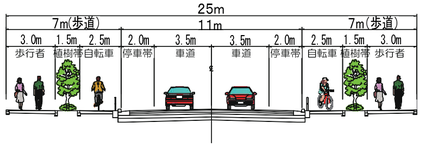
●横断図

横断図 A-A

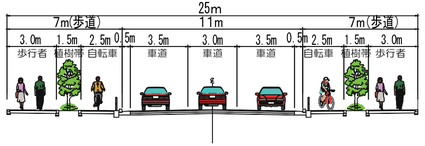


※車道に置きガードレールを設置

横断図 B-B



横断図 C-C



東京都市計画道路　放射第７号線	
道路規格	第４種第１級
事業延長	2. 0km
道路幅員	25m
幅員構成	本線２車線

凡例
- 車道部
- 歩道
- 植栽帯
- カラー舗装
- 信号機

（信号機は暫定交通開放時での設置箇所です。）